

注 意 事 項

伊予市胃がん検診(内視鏡検査)

伊予市胃がん検診(内視鏡検査)のご受診前に、別紙「受診票」の同意書欄にご署名が必要です。必ず、この注意事項をよくお読みになり、ご理解いただいた上で、ご署名ください。



内視鏡検査前日の対応について

- ・午前中に検査を実施する場合は、前日の夜9時以降は、飲食、喫煙をしないでください。
※脱水を防ぐため、水は飲んで構いません。
- ※毎日飲んでいるお薬がある場合は、事前に必ず、かかりつけの先生に薬について相談してください。

★検査を実施する医療機関からの指示がある場合には、そちらに従ってください。

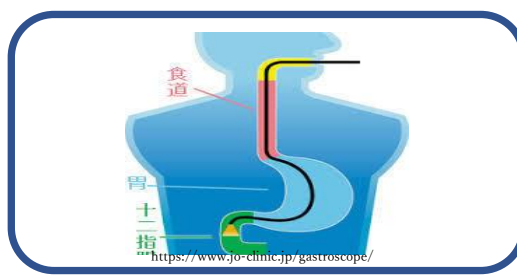
内視鏡検査時の前処置について

伊予市の胃がん検診では、内視鏡検査を行うために「使用してもよい薬(消泡薬ならびに粘液除去薬、鎮痙薬、咽喉麻酔)」は使用することがありますが、偶発症に関する死亡例の多くが、前処置に用いる「鎮痛薬・鎮静薬」などに起因していたことから、「鎮痛薬・鎮静薬」は使用しません。

なお、薬剤の具体的なことについては、検査実施医療機関から説明を受けてください。

内視鏡検査の方法

- ① 口または鼻から胃内視鏡(胃カメラ)を挿入する。
- ② 食道～胃・十二指腸までを医師の目で直接観察する。



※異常があり、検査医が必要と判断した場合には、病変の一部をとり(生検)、細胞の検査(病理検査)を行うことがあります。生検に関する説明は、検査実施医療機関からの説明を受けてください。
※色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。

検査後について

胃内視鏡検査は直接カメラで胃を刺激します。また、生検を実施した場合は、生検により粘膜に傷ができますので、検査当日の食事はやわらかい消化の良いものを食べてください。

飲酒は絶対に禁止です。過激な運動、長湯、旅行等は避けてください。

検査結果について

結果は、検査医師による読影に加え、後日読影委員による読影（ダブルチェック）により最終判定をします。そのため、

- ① 最終結果通知までに時間がかかります。（約 1 か月）
- ② 検査時の結果と、最終判定結果は変更されることがあります。

上記①②は、より正確な判定等を行うために必要です。ご了承ください。

健診結果は、「精検不要」と「要精密検査」でお知らせします。「要精密検査」となった場合は、速やかに精密検査実施医療機関一覧を参考に必ず受診してください。

もしがんと言われても、自覚症状のない早期のがんであれば治療もしやすくなります。

胃内視鏡検査における精密検査(生検)について

生検は、伊予市の胃がん検診ではありません。**保険診療**です。

そのため、生検等が行われた場合には、**保険診療として別途請求**があります。

当日は、健康保険証を持参してください。

メリット、デメリット

●メリット(良いところ)●

食道～胃・十二指腸までを医師の目で直接観察することができます。

▲デメリット(悪いところ)▲

検査時に、のどに違和感があったり、偶発症が発生したりすることがあります。

- 【偶発症】 発生する頻度は、胃内視鏡検診では10万件に78件と全国調査により報告されています。この中には鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検診による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。
- 胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。
- 1) 胃内視鏡により粘膜に傷がつくことや、出血、穿孔（穴があくこと）
 - 2) 生検により出血、穿孔
 - 3) 薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）
 - 4) 検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

今後の検診の受診間隔

今年度内視鏡検査を受診された方の伊予市での次回検診は、2年後（令和9年度）です。

翌年度は内視鏡またはバリウム検査のどちらも受診できません。

同一年度に複数回（内視鏡検査とバリウム検査またはバリウム検査を2回等）、または、2年連続での検査（内視鏡検査の翌年にバリウム検査等）を行った場合には、『**受診者の全額自己負担**』となります。